

第3回地域福祉計画策定会議議事録

日時 平成29年7月13日(木)

午前10時～

場所 第3委員会室

1. 団体ヒアリング結果について

- ボランティアの有償化の事例はあるか
商店街で使えるポイント制を導入し、地域経済の活性化につなげる事例はある。
- 情報の提供、共有の課題があがっていたが、広報等を見ていない市民も多い。

2. 施策体系案について

- P.14 の消費生活センター事業の位置はここで正しいか。どういう意味で「地域の防災力の強化」の施策に位置付けられているのか。
→詐欺被害の相談等を想定しているが、位置は少し見直す必要があるかもしれない。
- P.1 健康フェスティバルのあり方が今後変わる可能性がある。
- 内容はそのまま計画に載るか。
→そのまま載せるものもあると思うが、今後の方向性を踏まえた記載になる。
- 団体ヒアリング結果で情報の問題や連携の問題があがっていたが、それに対応する施策はどれか。
→「3 支援の輪をひろげ、つなげる」の「4 地域の情報を支援につなげる仕組みづくり」の「地域の情報収集」や「コーディネート機能の強化」。計画の核にもなってくる部分。
- 地域の人材を有効活用できるとよい。その団体が支援している団体だけではなく、多世代などが関わられるように団体の活動を支援していく必要があると思う。

3. 計画骨子案について

- P.5 の計画期間で障害福祉計画だけ「第5期」がついているので削除を。また、第6期計画等作ることがほぼ決まっているものについては、記載してはどうか。
- 地域福祉懇談会は、継続してやってほしいという声があったが、行政がやるものか。自主的にやれるといいと思うがどうか。
→自主的にやれるのが理想だが、当面は市の後ろ盾が必要だと思う。
- P.11 「要支援2の増加割合が大きくなっている」との記載があるが、表からは読み取りづらい。表現を変えるか、表を変えるかしたほうがいい。
- P.14 に外国籍市民の状況があるが、施策体系案の中で「4 社会的孤立を防ぐ」の中の「2 困難を抱える人への支援・・・」とあるが、外国人が全員困難を抱えているわけではない。言葉の問題等ある人で困難を抱えている人もいるが、ひとまとめにしてここに位置付けるのはどうか。
→再度検討する。

午前11時終了